

平成20年 9月18日

各 位

会社名 佐渡汽船株式会社
代表者名 代表取締役社長 小川 健
(JASDAQ・コード番号 9176)
問合せ先
役職・氏名 取締役総務部長 木村 毅
電 話 025-245-2311

連結子会社の合併に関するお知らせ

当社の連結子会社である新潟県観光株式会社及び佐渡汽船スチュワーデス株式会社は、平成20年9月18日開催の各社取締役会において佐渡汽船観光株式会社と平成20年12月1日をもって合併することを決議し、同日、合併契約を締結するとともに、当社は同日開催の取締役会において当該合併を承認することを決議いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 合併の目的

当社は平成20年2月28日に開示いたしました平成19年12月期決算短信に記載のとおり、現在、経営改善計画に基づき実施可能な施策から順次実施中であり、グループ企業を合併する等、業種別の集約化に取り組んでおります。この度の観光関連グループの再編はその一環であります。

主に佐渡島内において旅行業、貸自動車業を営し、かつ当社の新潟・両津における旅客案内・旅客窓口業務を受託している佐渡汽船観光株式会社を存続会社とし、首都圏で佐渡関連の旅行業を営し、当社の東京案内所、大宮案内所の観光客誘客活動及び予約業務を受託している新潟県観光株式会社（子会社）と佐渡島内において島内ガイド等観光客を対象としたサービス業を営している佐渡汽船スチュワーデス株式会社（子会社）を消滅会社とする観光関連部門を営する3社が、合併契約を締結することになりました。

本合併は観光関連部門3社が個別に類似した事業を継続するよりも、佐渡汽船観光株式会社を中心として3社の業務の集約を行い、佐渡への旅行者の予約手配及び観光案内業務を一元化することにより、業務を効率的に進めることができ、その結果、グループ全体の売上増や費用削減が期待できると判断いたしましたので、当該3社の合併を承認することといたしました。

2. 合併の要旨

(1) 合併の日程

合併決議取締役会	平成 20 年 9 月 18 日 (木曜日)
合併契約締結	平成 20 年 9 月 18 日 (木曜日)
株主総会基準日	平成 20 年 10 月 4 日 (土曜日)
合併承認株主総会 (3 社)	平成 20 年 10 月 20 日 (月曜日) (予定)
合併の予定日 (効力発生日)	平成 20 年 12 月 1 日 (月曜日) (予定)
株券発行日	平成 20 年 12 月 1 日 (月曜日) (予定)

(2) 合併方式

佐渡汽船観光株式会社を吸収合併存続会社とする合併方式で、新潟県観光株式会社と佐渡汽船スチュワードズ株式会社は吸収合併消滅会社となります。

(3) 合併比率

会社名	佐渡汽船観光株式会社 (存続会社)	新潟県観光株式会社 (消滅会社)	佐渡汽船スチュワードズ株式会社 (消滅会社)
合併比率	1.00	0.61	0.32

(注) 1. 株式の割当比率

佐渡汽船観光株式会社の株式 1 株に対して、新潟県観光株式会社の株式を 0.61 株、佐渡汽船観光株式会社の株式 1 株に対して佐渡汽船スチュワードズ株式会社 0.32 株を割当交付します。

2. 合併により発行する新株式数等

佐渡汽船観光株式会社 普通株式 625 株

(4) 合併比率の算定根拠等

算定の基礎及び経緯

合併比率については税理士法人小川会計が算定した結果を参考にし、合併当事者間において決定したものであります。税理士法人小川会計は、佐渡汽船観光株式会社、新潟県観光株式会社及び佐渡汽船スチュワードズ株式会社について、時価純資産に基づいて企業評価を行い、これをベースとして合併比率を算定いたしました。

佐渡汽船観光株式会社、新潟県観光株式会社及び佐渡汽船スチュワードズ株式会社の直近の平成 19 年 12 月決算期の貸借対照表を基に、資産 (時価) から負債を差し引いた純資産価額 (引当金除く) を算出し、その金額を発行株式数で除しました。

合併比率の算定

	佐渡汽船観光株式会社 (存続会社)	新潟県観光株式会社 (消滅会社)	佐渡汽船スチュワーデス株式会社 (消滅会社)
1株当たりの評価額	63,293円	38,325円	20,123円

算定機関との関係

算定機関である税理士法人小川会計は、M & Aの専門分野を持ち、またその資産評価のノウハウについては新潟県内において評価されていることから、算定機関としての候補として選択し、数社見積もり合わせの結果、算定機関として採用いたしました。

また、税理士法人小川会計は、その代表社員が当社の代表取締役であります。今回合併する3社の関連当事者には該当しておらず、その公平性に問題はないと認識しております。

(5) 消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

3. 合併当事会社の概要(平成19年12月31日現在)

(1)商号	佐渡汽船観光株式会社 (存続会社)	新潟県観光株式会社 (消滅会社)	佐渡汽船スチュワーデス株式会社 (消滅会社)
(2)主な事業内容	旅行業、広告取扱業、貸自動車業、海上運送法に基づく代理店業 他	国内旅行業、佐渡汽船株の受託業務 他	観光案内業、観光宣伝業 他
(3)設立年月日	昭和45年12月21日	昭和45年12月11日	昭和45年9月24日
(4)本店所在地	新潟県新潟市中央区万代島9番1号	東京都北区王子1丁目16番7号	新潟県佐渡市両津湊353番地
(5)代表者の役職・氏名	代表取締役社長 白倉道義	代表取締役社長 渡辺 均	代表取締役社長 佐々木 健
(6)資本金の額	20,000千円	10,000千円	10,000千円
(7)発行済株式総数	2,000株	500株	1,000株
(8)純資産	77,787千円	32,292千円	29,228千円
(9)総資産	536,049千円	39,277千円	41,460千円
(10)事業年度の末日	12月31日	12月31日	12月31日
(11)従業員数	69名	6名	11名
(12)主要取引先	佐渡汽船株式会社 株式会社ジェイティピー 東日本旅客鉄道株式会社	佐渡汽船株式会社 東日本旅客鉄道株式会社	佐渡汽船株式会社
(13)大株主及び持株比率	新潟県観光物産株式会社 35.00% 佐渡汽船共済会 25.00% 佐渡汽船株式会社 14.50%	佐渡汽船観光株式会社 40.00% 佐渡汽船株式会社 20.00% 佐渡汽船商事株式会社 20.00%	佐渡汽船株式会社 35.00% 佐渡汽船商事株式会社 20.00% 新潟県観光物産株式会社 18.00%
(14)主要取引銀行	北越銀行	借入金なし	借入金なし
(15)当事会社間関係等	資本関係	佐渡汽船観光株式会社は新潟県観光株式会社の株式を40.00%所有しております。	
	人的関係	佐渡汽船観光株式会社代表取締役社長の白倉道義氏は、新潟県観光株式会社の取締役であります。	
	取引関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	

(注) 佐渡汽船観光株式会社の本店所在地は平成20年9月18日現在の本店所在地を記載しております。

(16) 最近3年間の業績

(単位：千円 千円未満切捨)

事業年度の末日	佐渡汽船観光株式会社 (存続会社)			新潟県観光株式会社 (消滅会社)		
	平成17年 12月期	平成18年 12月期	平成19年 12月期	平成17年 12月期	平成18年 12月期	平成19年 12月期
売上高	441,343	432,516	406,237	34,959	34,086	30,687
営業利益	3,255	2,242	15,677	2,995	2,822	1,428
経常利益	1,626	2,182	12,714	2,293	8,358	1,421
当期純利益	1,130	2,023	24,408	636	817	1,936
1株当たり当期純利益(円)	565.1	1,012.0	12,204.3	1,272.3	1,634.7	3,872.7
1株当たり配当金(円)	-	-	-	-	-	-
1株当たり純資産(円)	50,086.3	51,098.2	38,894.0	59,077.0	60,711.7	64,584.5

(単位：千円 千円未満切捨)

事業年度の末日	佐渡汽船スチュワーデス株式会社 (消滅会社)		
	平成17年 12月期	平成18年 12月期	平成19年 12月期
売上高	46,932	40,561	30,599
営業利益	69	1,689	2,344
経常利益	53	393	1,353
当期純利益	572	2,071	2,397
1株当たり当期純利益(円)	572.7	2,071.8	2,397.2
1株当たり配当金(円)	-	-	-
1株当たり純資産(円)	33,697.5	31,625.7	29,228.5

4. 合併後の状況

(1) 商号	佐渡汽船観光株式会社
(2) 主な事業内容	旅行業、広告取扱業、貸自動車業、海上運送法に基づく代理店業 他
(3) 本店所在地	新潟県新潟市中央区万代島9番1号
(4) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 白倉道義
(5) 資本金の額	29,300千円
(6) 純資産	139,308千円(平成19年12月31日現在)
(7) 総資産	616,788千円(平成19年12月31日現在)
(8) 事業年度の末日	12月31日

(9) 会計処理の概要

現在算定中であり、処理の概要が確定次第、開示いたします。

(10) 合併による業績への影響・見通し

当該合併は、連結対象外の佐渡汽船観光株式会社が当社連結子会社2社を吸収合併するものでありますが、現段階では、合併後の佐渡汽船観光株式会社については、当社連結会計への取り込み方はまだ確定しておりませんので、確定次第お知らせいたします。

また、本合併は平成20年12月期の決算に影響を与えますが、影響額につきましては現在試算中であり、数値が確定次第開示いたします。

以上